

データでみる大正大学

2007

平成19年4月1日▶平成20年3月31日

012345678901234567890123456789

012345678901234567890123456789



氷河時代の大学をどうするのか

近年、本学を取り巻く社会環境、とくに学生確保の情勢が急速に悪化してきました。

いま、厳格な対応が緊急絶対の必要事であります。

平成20年（2008）4月、全国の大学は約70万人の新入生を迎えています。

青春の学び舎の式典、入学式はいかにも明るく希望に満ちた華やかなセレモニーであります。その実際の大学の内情は頗る厳しいのです。

18歳人口の急速な減少の中で、私立大学の約4割が入学定員に達していないのです。

本学はここ数年、年次を追って志願者が2割宛減りつづけてきましたが、平成20年（2008）3月は漸くのことで入学定員を確保できたというのが現状です。

平成19年（2007）度、全国の大学・短大の入学者は18歳人口の53%でありました。

これは18歳人口の半分が大学・短大に入ったということですが、これをどう受けとめたらいいのでしょうか。

これについての世論を見てみるとー（3/31 日経新聞調査）

「学習意欲もないのに大学へ行っても時間とお金の無駄」72%

「大学生の学力が全体的に低下」67%

「レベルの低い大学と大学生が増加」65%

このような世論を抛り所としてか、国の中央教育審議会は「向上への努力を怠る大学は淘汰されて必然である」と明言し「大学の大きな問題は、質の管理を怠っていることだ」と指摘しています。

そして、それでもなお、社会の声を顧みない「旧態依然としている大学がある」と、まことに厳しい批判をしているのです。

かえりみて、本学は、はたしていかがでしょうか。

旧態依然として、大学内のことにのみ汲々として、時代の進運に無関心といわれることはないのでしょうか。

まさに「大学の氷河時代」が到来しています。

久しい以前から、少子化による18歳人口の減少、大学全入の時代が来るーといわれていましたが、その現実が急速に、そして確実に到来しました。

こうした大学の置かれた社会的状況の中で、本学はまさに生き残りをかけて、教育の改革と教育環境の整備を計画的かつ早急に実施しなければなりません。

既に公表している平成20年度からスタートする中期基本計画の実施について理事会、教授会、職員が一体となって取り組むことによって、一定の成果を挙げたいと考えております。

■ 「協定調印式」



平成19年11月19日、豊島区立舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）において、豊島区と区内六大学（学習院大学、女子栄養大学、大正大学、帝京平成大学、東京音楽大学、立教大学）との連携・協働に関する包括協定調印式が開催されました。

式典の最後に、高野之夫豊島区長より「としまコミュニティ大学」の開校が宣言されました。

11月21日、板橋区教育委員会と「大正大学と板橋区教育委員会とのフレンドリースタッフボランティア制度の取り扱いに関する協定」を締結しました。



この制度は、本学人間学部人間福祉学科臨床心理学専攻に1年以上在籍する学生及び大学院人間学研究科臨床心理学専攻に在籍している学生を板橋区内の公立小・中学校に派遣し、教育現場の体験を通して学校におけるカウンセリングの意義とその担当者の役割を考えさせることによって、広く児童・生徒への理解と関わりの体験を深めさせる機会をつくるとともに、当該小・中学校の教育活動の充実のための支援を行うことを目的とするものです。

■ 「大正大学フェア」



平成19年10月開催。場所：ホテル日航福岡 内容：第1部「仏教と芸術」小峰彌彦学長と本学客員教授東儀秀樹氏による特別対談、第2部「すべてを否定しない生き方」東儀秀樹氏による雅楽演奏を交えた特別講演。その他、9月にコープシティ花園ガレソンホール（新潟市）において、FM PORT（新潟県民エフエム放送）共催によるフェア（公開講座、入試相談会、クイズ大会他）を開催

■ 「文化功労者顕彰記念講演会」



平成19年12月開催。場所：本学大会議室 内容：辛島昇教授（文学部）文化功労者顕彰記念講演会「インド文化とは何か ラーマヤナとカレーライスを例にグローバルイノベーションを考える」

■ 「教育連携報告会」



平成20年1月開催。場所：本学2号館 内容：本学と豊島区立小・中学校との教育連携（学校支援ボランティア）に関する報告会（基調講演「教育連携への期待」、学生発表、講評「豊島区における教育連携の展望」、他）

■ 「江戸の花・さくらそうフェア」



平成19年4月開催。場所：千川上水公園（掘割バス停前） 内容：2007千川上水公園再生ワークショップ 江戸の花・さくらそうフェア実行委員会主催（本学協賛）による桜草展示と品評会、本学雅楽倶楽部による雅楽演奏会、他

資金収支計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,872,890	3,869,981	2,908
手数料収入	127,793	112,279	15,513
寄付金収入	259,100	254,810	4,290
補助金収入	360,600	381,178	△20,578
資産運用収入	27,100	40,122	△13,022
資産売却収入	35,000	35,000	0
事業収入	6,900	11,465	△4,565
雑収入	121,570	150,313	△28,743
前受金収入	931,200	988,800	△57,600
その他の収入	688,617	661,653	26,963
資金収入調整勘定	△1,229,255	△1,261,369	32,114
前年度繰越支払資金	4,205,294	4,205,294	—
収入の部合計	9,406,809	9,449,530	△42,720

支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,527,384	2,446,389	80,994
教育研究経費支出	1,035,557	945,183	90,373
管理経費支出	492,845	454,536	38,308
借入金等利息支出	5,368	5,368	0
借入金等返済支出	100,000	100,000	0
施設関係支出	53,827	53,729	97
設備関係支出	113,877	112,968	909
資産運用支出	913,707	937,541	△23,833
その他の支出	309,301	315,751	△6,450
[予備費]	2,358	—	2,358
資金支出調整勘定	△160,703	△201,258	40,555
次年度繰越支払資金	4,013,285	4,279,319	△266,033
支出の部合計	9,406,809	9,449,530	△42,720

資金収支計算書は、本学の当該会計年度の諸活動に対応する、全ての収入・支出の内容を明らかにし、かつ支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

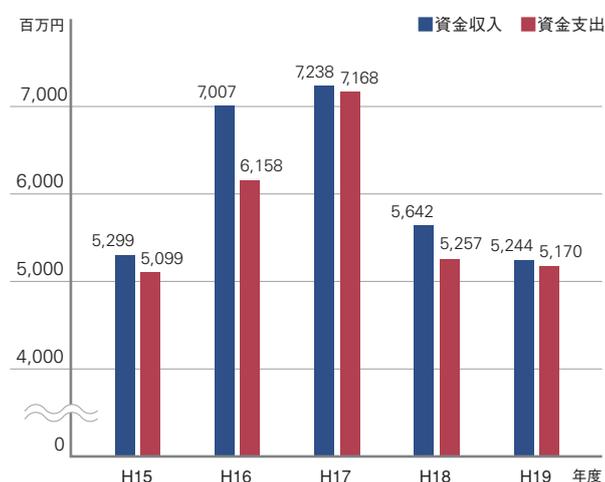
資金収入と資金支出の差額である次年度繰越支払資金は、42億7千万円余となり予算を2億6千万円余上回りました。

内訳を見ると、収入面では、補助金収入及び雑収入が見込みを上回ったほか、前受金収入が予算に比して5千万円余も上回るなど、収入全体として予算を4千万円余上回りました。

支出面では、人件費が予算を下回り24億4千万円余となったほか、教育研究経費支出並びに管理経費支出等、全体的に予算額を下回る結果となりました。

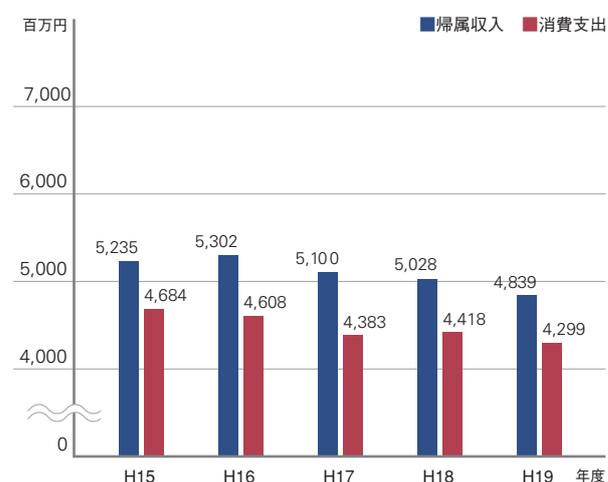
資産運用支出のうち、運用の主なものとして、退職給与引当特定資産（社債）へ1億円（積上げ1億円）、大学整備費引当特定資産（社債）へ3億円（積上げ3億円）、総合仏教研究費引当特定資産（社債）へ1億円（定期預金よりシフト）となっており、今年度の社債への運用合計は5億円、今年度末の運用合計は30億円となりました。

資金収支の推移



(注) 資金収支の推移の「資金収入」は資金収支計算書の「収入の部合計」から「前年度繰越支払資金」を控除した金額であり、「資金支出」は「支出の部合計」から「次年度繰越支払資金」を控除した金額です。

消費収支の推移



消費収支計算書 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

消費収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,872,890	3,869,981	2,908
手数料	127,793	112,279	15,513
寄付金	260,100	273,277	△13,177
補助金	360,600	381,178	△20,578
資産運用収入	27,100	40,122	△13,022
事業収入	6,900	11,465	△4,565
雑収入	121,570	150,313	△28,743
帰属収入合計	4,776,953	4,838,618	△61,665
基本金組入額合計	△226,000	△206,483	△19,516
消費収入の部合計	4,550,953	4,632,134	△81,181

消費支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,471,143	2,421,627	49,515
教育研究経費	1,406,557	1,337,660	68,896
管理経費	523,845	501,290	22,554
借入金等利息	5,368	5,368	0
資産処分差額	28,300	33,509	△5,209
[予備費]	45,000	—	45,000
消費支出の部合計	4,480,214	4,299,456	180,757
当年度消費収入超過額	70,738	332,678	—
前年度繰越消費支出超過額	877,029	877,029	—
翌年度繰越消費支出超過額	806,290	544,350	—

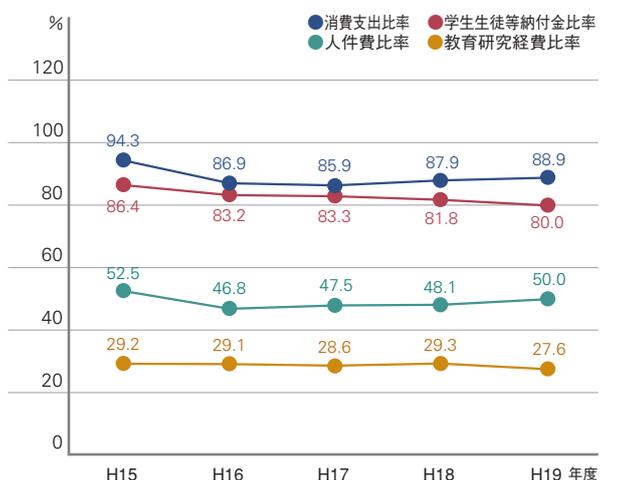
消費収支計算書は、計算目的に違いはあっても、いわば企業会計の損益計算書にあたるもので、本学の経営状態が健全であるかどうかを示すものです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金（現物寄付金除く）、補助金、資産運用収入、事業収入及び雑収入の法人に帰属する負債とならない収入で、資金収入の当該科目と同額です。

帰属収入48億3千万円余から基本金組入額を控除した消費支出に充当することができる消費収入は46億3千万円余となり、予算に対し8千万円余上回りました。

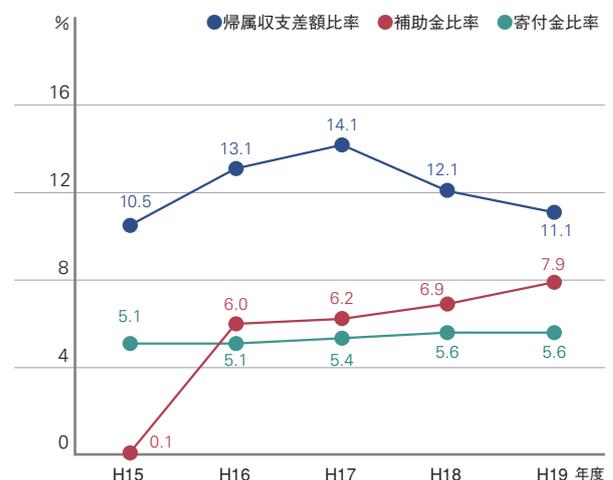
消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費で、42億9千万円余となり予算を下回ったので、平成19年度決算における帰属収支差額は5億3千万円余、消費収支差額は3億3千万円余の収入超過となりました。

消費収支関係財務比率の推移 ①



消費支出比率=消費支出/帰属収入
 学生生徒等納付金比率=学生生徒等納付金/帰属収入
 人件費比率=人件費/帰属収入
 教育研究経費比率=教育研究経費/帰属収入

消費収支関係財務比率の推移 ②



帰属収支差額比率=(帰属収入-消費支出)/帰属収入
 補助金比率=補助金/帰属収入
 寄付金比率=寄付金/帰属収入

貸借対照表

平成20年3月31日

資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	16,118,382	15,965,115	153,267
有形固定資産	11,620,788	11,944,029	△323,241
その他の固定資産	4,497,593	4,021,085	476,508
流動資産	4,470,964	4,368,146	102,818
合 計	20,589,347	20,333,261	256,085

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部	2,617,084	2,900,161	△283,076
固定負債	1,261,486	1,386,249	△124,762
流動負債	1,355,598	1,513,912	△158,314
基本金の部	18,516,613	18,310,129	206,483
消費収支差額の部	△544,350	△877,029	332,678
合 計	20,589,347	20,333,261	256,085

(注1)

(単位：千円)

減価償却額の累計額の合計	6,069,641	5,678,611	391,029
--------------	-----------	-----------	---------

(注2)

(単位：千円)

基本金未組入額	157,622	276,355	△118,733
---------	---------	---------	----------

※基本金未組入額は翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額です。

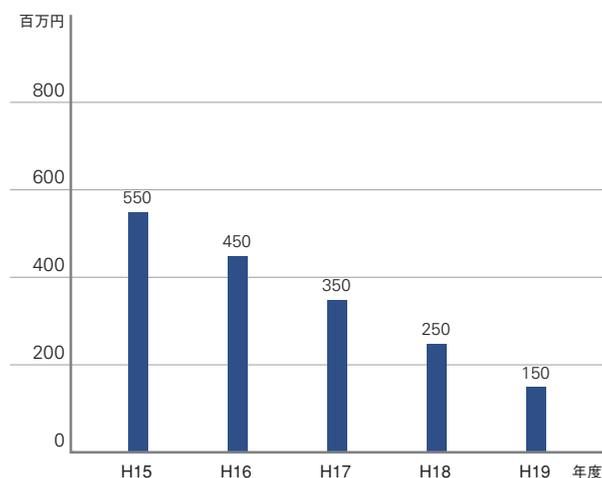
有形固定資産は、図書購入を約1億1千万円行ったが、施設への投資が、情報閲覧室マルチメディア化工事、同LAN工事及び9号館空調機改修工事を主として約3千6百万円のみであったため、減価償却を主に3億2千万円余の減少となりました。

その他の固定資産は、老朽化の施設に対する長期施設修繕計画に基づき、施設修繕引当特定預金を新設し1億円の積上げを行い、また、引当特定資産への積上げ3億7千万円を行ったことにより4億7千万円余の増加となりました。

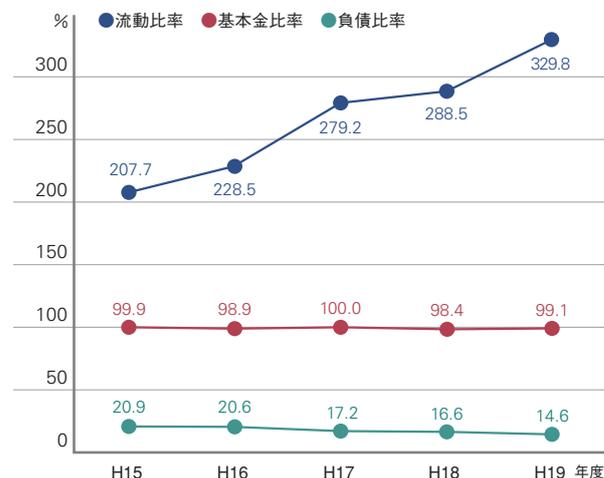
流動資産は、繰越現預金を主に1億円余の増加となりました。

一方、負債の部で、借入金が増加したこともあり、正味資産は5億3千万円余の増加となりました。

借入金残高の推移



貸借対照表関係財務比率の推移



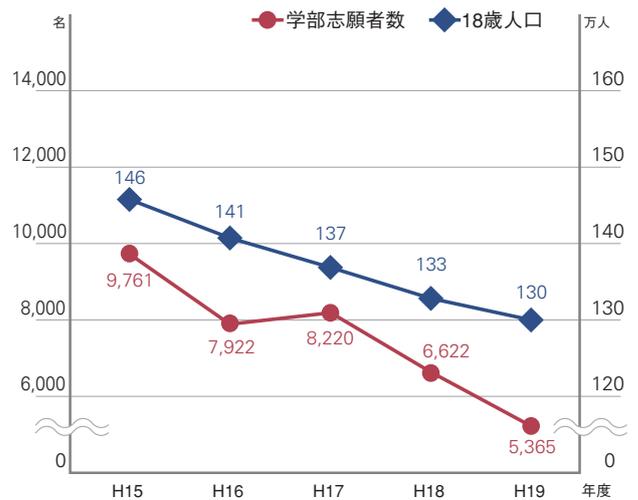
流動比率 = 流動資産 / 流動負債
 基本金比率 = 基本金 / 基本金要組入額
 負債比率 = 総負債 / 自己資金 (=基本金 + 消費収支差額)

学部・学科別志願者数・合格者数・入学者数 平成19年度

(単位:名)

学部	学科・専攻	志願者数	合格者数	入学者数
人間学部	仏教学科	260	170	125
	人間福祉学科	1,862	509	280
	(社会福祉学専攻)	(740)	(306)	(168)
	(臨床心理学専攻)	(1,122)	(203)	(112)
	人間科学科	918	316	177
	計	3,040	995	582
文学部	表現文化学科	1,095	293	189
	歴史文化学科	1,230	435	247
	計	2,325	728	436
合計		5,365	1,723	1,018

学部志願者数・18歳人口の推移

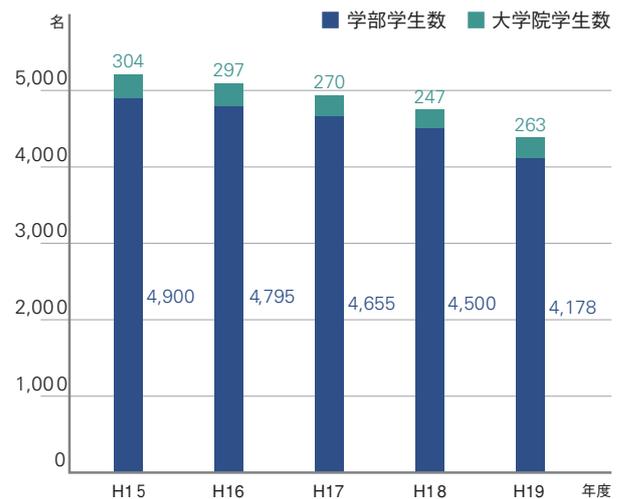


学部・大学院別定員・学生数等 平成19年5月1日現在

(単位:名)

学部	入学定員	収容定員	編入学定員	学生数
人間学部	485	2,078	69	2,457
文学部	340	1,452	46	1,721
合計	825	3,530	115	4,178

学生数の推移



(単位:名)

研究科	博士前期課程 (修士課程)			博士後期課程		
	入学定員	収容定員	学生数	入学定員	収容定員	学生数
仏教学研究科	40	80	92	7	21	28
人間学研究科	48	96	68	6	18	14
文学研究科	50	100	42	12	36	19
合計	138	276	202	25	75	61

教職員数 平成19年5月1日現在

(単位:名)

	教授	准教授	専任講師	助手	合計
人間学部	39	21	4	0	64
文学部	31	7	3	0	41
I類	0	1	1	0	2
合計	70	29	8	0	107

教職員数の推移



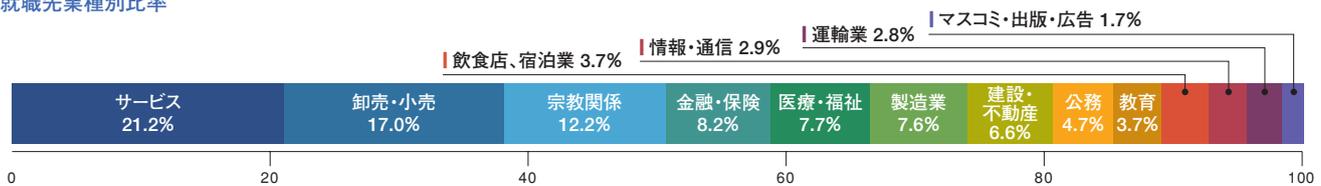
(単位:名)

	専任	常勤嘱託	合計
	65	29	94

就職状況

平成20年4月30日現在

就職先業種別比率



主な就職先

サービス	(株)インテリジェンス/(株)大塚商会/(株)JTBトラベランド/(株)スタジオアリス/(株)東急リゾートサービス/(株)東計電算/(株)パソナキャリア/(株)北海道ツーリストセンター/名鉄観光サービス(株)/メディカル・ケア・サービス(株)/郵便局(株)/(株)夢真ホールディングス	建設・不動産	(株)穴吹工務店/イオンモール(株)/(株)ウィークリーマンション東京/オークラヤ住宅(株)/(株)木下工務店/工藤建設(株)/積和不動産(株)/全日空ビルディング(株)/タマホーム(株)/大東建託(株)/日本ハウズイング(株)/松井建設(株)
卸売・小売	愛眼(株)/イオン(株)/京都きもの友禅(株)/(株)コナカ/(株)サンドラッグ/(株)島忠/(株)ダイエー/はるやま商事(株)/(株)ファミリーマート/(株)三城/ミニストップ(株)/(株)ヤマダ電機	教育	(学)大妻学院/大原簿記法律専門学校/(学)九里学園/(学)駒込学園/(株)さなる/(株)東京個別指導学院/(株)東京リーガルマインド/(学)藤嶺学園/(株)日本公文教育研究会/福島県内中学校/(株)まなびロード
金融・保険	イオンクレジットサービス(株)/(株)関東つくば銀行/(株)クレディセゾン/(株)京葉銀行/(株)山陰合同銀行/(株)武富士/大和証券(株)/(株)千葉銀行/(株)栃木銀行/日本生命保険(相)/三井住友海上火災保険(株)/明治安田生命保険(相)	飲食店・宿泊業	(株)銀座ルノアール/グレイスホテル(株)/(株)三光マーケティングフーズ/(株)すかいらーく/スターバックスコーヒージャパン(株)/(株)ダイヤモンドダイニング/(株)ハイデイ日高/富士屋ホテル(株)/(株)ミリアルリゾートホテルズ/(株)山の上ホテル/ルートインジャパン(株)/ワタミ(株)
医療・福祉	(独)高齢・障害者雇用支援機構/(社福)埼玉県社会福祉事業団/(社福)賛育会/(社福)全国社会福祉協議会/(社福)立川市社会福祉協議会/(株)日本保育サービス/(株)ファルコバイオシステムズ/(株)プライムステージ/(株)ベネッセスタイルケア/(株)やさしい手/(社福)横浜市福祉サービス協会/(株)ライフコミュニケーション	情報・通信	イー・アクセス(株)/NTTインターネット(株)/共同コンピュータ(株)/トランス・コスモス(株)/富士ソフト(株)
製造業	(株)AOKIホールディングス/共同印刷(株)/極東開発工業(株)/(株)コロナ/サンウエーブ工業(株)/THK(株)/凸版印刷(株)/(株)ドクターシーラボ/日立ツール(株)/森永乳業(株)/(株)ユナイテッドアローズ/理想科学工業(株)	運輸業	西武バス(株)/(株)日本旅行/東日本旅客鉄道(株)/(株)丸運/ヤマト運輸(株)
		マスコミ・出版・広告	(株)泉放送制作/(株)おおたコミュニティ放送/オメガプロジェクト・ホールディングス(株)/(株)さんぼう/(株)第一広栄社

役員等の状況

平成20年3月31日現在

理事

理事長：里見達人

学長：小峰彌彦

常任理事：小野塚幾澄、石上善應、杉谷義純、船岡芳昭

理事：岡本宣丈、榎本昇道、菅野秀浩、廣橋義敬、宇高良哲

監事：山田俊和、鈴木道雄、鈴木中也、安孫子虔悦

評議員：29名（うち6名理事兼務）

顧問：4名



学校法人 大正大学 総務部

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1

TEL 03-3918-7311 FAX 03-5394-3037

E-Mail info@mail.tais.ac.jp